

表面から続く

「着物着付け・茶道体験」



当日は難波先生を代表とする「絹の衣」の協力を得て、着付け、ヘアセットを行います。また、日本の民族衣装である着物の説明も受けます。

さらに、日本文化である茶道について、挨拶の仕方、お菓子の食べ方、お茶の飲み方等を体験してもらいます。

着付けの体験人数は35人を定員としますが、見学のみも可能となっています。

- 日時 平成25年6月27日(木) 12時30分～17時00分
- 会場 プレアホール
- 内容
 - 12:30 集合、着付け、ヘアセット等
 - 14:30 ステージで着物の種類や用途を説明
 - 14:40 集合写真
 - 15:00 茶道体験
 - 17:00 終了予定

問い合わせ／SUICC(札幌大学インターコミュニケーションセンター)TEL:011-852-9138

第2回北方文化フォーラムを開催します



米村衛氏プロフィール

1956年生まれ。明治大学大学院文学研究科修士課程修了。網走市立郷土博物館学芸員を経て現在館長。

主な著書に「北海道の先土器時代終末の様相」、「北海道、越川遺跡における約2万年前の細石刃様の石器」など、多数。

札幌大学文化学部では、7月12日(金)18時から、網走市立郷土博物館長の米村衛氏をお迎えし、第2回『北方文化フォーラム』を開催します。

札幌大学文化学部では、学部開設以来、学生と教職員、一般市民の方々を対象とした公開講座「北方文化フォーラム」を毎年開催しています。

今年度第2回目は、7月12日(金)18時から、網走市立郷土博物館長の米村衛氏をお迎えし、「モヨロ貝塚と米村家・博物館」をテーマにご講演をいただきます。

米村衛氏の祖父は、モヨロ貝塚の保存活動や最初の網走の博物館設立で有名な米村喜男衛氏であり、父哲衛氏も網走市郷土博物館長を務められ、親子3代にわたって網走市でモヨロ貝塚の保存と活用にあたられました。その歩みを語っていただき、さらに今年5月に国指定史跡モヨロ貝塚のガイダンス施設がリニューアルオープンしたので、この概要も写真などから説明していただきます。また、札幌大学の元学長山口昌男先生が高校時代に、博物館に接続する米村家に下宿していたエピソードなどについてもお話ししていただきます。

一般の方々の聴講も可能です。参加費無料、事前申込不要です。当日自由にご参加ください。

なお、この講座は道民カレッジの講座も兼ねています。